

水稻・麦・大豆栽培情報 1月号

平成27年 1月 7日
J A 柳 川
南筑後普及指導センター

【麦】

1 生育概況

播種が11月下旬～12月中旬を中心に行われており、生育は概ね順調で現在1～3葉期になっています。播種が遅れたほ場では、寒波の影響もあり、出芽に時間がかかり、生育が遅れています。

また、播種後周期的な降雨により、土壌が湿った状態が続いたため、スズメノテッポウ等の雑草の発生が見られます。

2 施肥

子実のタンパク含量を高めるため、追肥は必ず1月下旬頃を目安に施用して下さい。シロガネコムギは「麦追肥一発2号」を、ミナミノカオリは「麦のかおり」を下表に準じて施用します。追肥後は、効果を高めるため、土入れを行いましょう。

	品 種 名	肥料名及び10a当たり施用量
水稻後	シロガネコムギ	「麦追肥一発2号」 25kg
	ミナミノカオリ	「麦のかおり」 40kg
大豆後	シロガネコムギ	「麦追肥一発2号」 20kg
	ミナミノカオリ	「麦のかおり」 30kg

※大豆後作の追肥については、生育に応じ加減して下さい。

3 麦踏み・土入れ

麦踏み、土入れは節間伸長開始前までにそれぞれ3回を目安に行います。

麦踏みは、麦の分げつを促進する効果がありますが、ほ場が湿潤な状態で行うと、土壌を締めつけ、生育を抑制してしまふことがありますので、必ず土壌が乾燥した状態で行ってください。

土入れは、無効分げつの抑制、雑草抑制や排水対策などの効果があります。土塊が大きくなるように、麦踏みと同じく土壌が乾燥した状態で行ってください。なお、土入れは麦踏前に実施し、麦踏み直後にはしないようにしましょう。

4 雑草防除

イネ科雑草や広葉雑草が多い場合は、ハーモニー75DF 水和剤を散布します。ハーモニー75DF 水和剤は、ハーモニー細粒剤 F を使用したほ場では使用できないので注意が必要です。

また、広葉雑草（特にヤエムグラ）のみが発生した場合は、エコパートフロアブルが有効です。なお、カラスノエンドウに対してはアクチノール乳剤を使用します。除草剤散布後 1 週間程度は、麦踏みや土入れを実施しないようにします。

※薬剤散布時には、周辺の作物等に飛散しないよう十分注意してください。

薬 剤 名	使用量 (希釈水量 水100ℓ)	使用時期・適用雑草
ハーモニー75DF 水和剤	5～10 g	麦 1 葉期～節間伸長前 スズメノテッポウ5 葉期まで
エコパートフロアブル	50～100ml	節間伸長開始期まで 広葉雑草 2～4 葉期 特にヤエムグラに効果高い
アクチノール乳剤	100～200ml	穂ばらみ期まで(雑草生育初期) 1 年生広葉雑草 特にカラスノエンドウに効果高い

◎カズノコグサ、タデ対策： 播種時の土壌処理剤として、ボクサーやキックボクサー細粒剤 F を散布したほ場では、1 月下旬頃までは残効が期待できません。従って後発するカズノコグサ、タデに対しては、1 月下～2 月上旬にハーモニー75DF 水和剤を散布します。

5 ミナミノカオリの穂揃期追肥

ミナミノカオリについては、1 月下旬に「麦のかおり」及び穂揃期の追肥に硫酸を施用することで、麦粒のタンパク質含有率の向上を図ります。

実需者が求める 12.0%以上を達成するため、穂揃期に 10 a 当たり硫酸 15 kg 施用を必ず行いましょう。

農薬使用上の注意

- 1 散布前に必ず農薬ラベル（農薬基準）を確認！
- 2 散布時には近隣作物や住宅街への飛散防止対策を徹底！
- 3 散布後は必ず散布器具(タンク、ホース等)を洗浄！
- 4 防除履歴の正確な記帳！